



# あらかわ区報 Jr.



ArakawaKuhō Junior

平成29年 1/18

発行 荒川区●23,000部発行  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111

## あらかわりサイクルセンター

- 所在地 南千住3-28-69
- 開館日時 月～土曜日（年末年始を除く）  
午前8時30分～午後5時15分



平成28年10月10日、南千住に「あらかわりサイクルセンター」がオープンしました。集めた資源を砕き、圧縮し、リサイクルしやすく処理する施設で、見学もできます。今回はあらかわりサイクルセンターの様子を紹介します。

あらかわりサイクルセンターへ行こう！

聞く！

見る！

体験できる！



▲左から汐入小学校6年の牧野結衣さん、福井瑠奈さん、李世賢さん、鈴木船之介くん、中道權成くん、松崎莉空くん



はかせ

区は集団回収が進んでおり、その1人当たりの資源回収量が、12年連続23区でトップなのは知っておるかな。みんなが集めた資源をより安定して処理できるよう新しくできた施設が「あらかわりサイクルセンター」じゃ。集めた資源を分別して、細かく砕き、圧縮するという中間処理を行う所なんじゃよ。この施設では、処理工程を見学できるようになっていて、ごみの処理や資源のリサイクルに関する資料も展示しておるぞ。さらに、資源を利用した工房も行っていて、楽しく学ぶこともできるぞ。

※処理エリアには、通常は入れません。今回は、特別に許可を得て撮影しました。

問合せ 清掃リサイクル課 内線☎470



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は3月に発行する予定です

### 「NHKコミュニティー・スクール in 南千住」開催!

NHKEテレの人気番組が、南千住地域にやってきて、公開収録やステージショーが開催されました。

NHKが「地域コミュニティの活性化」のきっかけづくりを目的として、「地域密着・視聴者参加型番組」を企画。その第1弾として、南千住が選ばれ、汐入小学校を中心にイベントが開催されました。

当日汐入小学校では、人気番組「Let's 天才てれびくん」のステージショーや、「Eダンスアカデミー」の公開収録などが実施され、産業技術高等専門学校のグラウンドでは、「ジュニアサッカー教室」も開かれ、南千住の多くの子どもたちが参加しました。

「Let's 天才てれびくん」のステージショーで、挨拶をする西川区長

「Let's 天才てれびくん」の缶バッジづくりに親子で挑戦!

▲「ジュニアサッカー教室」で指導をするNHKサッカー解説の宮澤ミシェルさん

### 資源中間処理の流れ

びん、缶、ペットボトル、トレイの処理方法について詳しく説明されています。

「これは洗ってもう一度使うリターナブルびんです」と萩原さんが説明。びんは種類によってリサイクルの仕方が変わります。「これは砕くのかな?」

「びんを細かく割ったカレット。びんは、人の手で色ごとに選別してから割ります」

「びんは色ごとに分けるのよ」

「ペットボトルは不要なものが混ざらないように選別してから、機械でつぶし固めます。一つの塊(ペール)は20キログラムほどです」

「上から見ると機械のすごさがよくわかる!」

「リサイクルのために機械で処理の様子を上から見学。びん→缶→トレイ→ペットボトルの順で見られます」

「通路にはリサイクルの流れやごみ処理の説明もあり、知識が深まります」

「すばやく動く機械を見て、みんな大興奮」

### 処理エリアは驚きの連続!

新しくできた「明らか区リサイクルセンター」は、資源を処理する様子を見ることが出来る見学コースを設けているのが特徴の一つです。オープンしたばかりの施設を汐入小学校6年生のジュニア記者が見学しました。

「初めて、区役所清掃リサイクル課の萩原崇之さんから、ごみ処理やリサイクルの説明を受けました。メモを取りながらしっかりと聞くジュニア記者は、あと50年で埋立処分場がいっぱいになると聞き、「ごみをもっと減らさなくては」と気持ち新たにしました。中間処理された缶の塊や、砕かれたびんなどを見てから見学用通路へ。全面ガラス張りで見やすい、処理エリアを隅々まで見渡せます。まずはびんの処理機械から「砕いて処理したり、色ごとに分けているなんて知らなかった」と感心しました。センターでは、廊下のパネルでリサイクルについての情報や、処理後に生まれ変わった製品も展示。「ペットボトルがシャツやネクタイにも変わるなんて知らなかった」と、新しい発見もありました。リサイクルの工程を見学して、「リサイクルしやすいよう家でもきちんと分別しようと思った」とジュニア記者もみなさんぜひ一度、見学に来てください。

「つぶしたり、溶かしたり処理工程に興味津々」

「見て!こんな塊になりました。200mlスチール缶約375個分がこんなにコンパクトに」

「缶は磁石を利用して、スチール缶とアルミ缶を素早く分別してからつぶします」

「缶は缶の中間処理です。コンベアの上を次々と缶が流れていく様子に「すごいスピードで分別して、いつまで見ても飽きないね」と興味津々。続くトレイの処理では、全く違う形状に変わること驚きま

「トレイは人が選別してから、細かく砕いて、加熱して固めます」

「「硬い!」トレイだったと思えない硬さに驚くジュニア記者」

「リサイクルセンター」

リターナブル(再利用) カレット(色選別→破砕→保管→排出)

缶 (磁力選別) 圧縮→保管→排出

ペットボトル (選別) 圧縮→保管→排出

トレイ (選別) 圧縮→保管→排出

※カレット…細かく割ったガラス片

### 懐かしいあの日あの時 思い出写真館

No.36 かつてあった南千住大踏切

南千住4丁目にあるJR貨物隅田川駅近くにある大きな歩道橋。昔、線路を越える通行は、歩道橋ではなく大きな踏切がありました。写真は、昭和38年と57年のもので、南千住駅から沿橋方向を向いて撮影しています。

貨物列車が通る際は、写真左下のように大変混雑していました。それを解消するために、貨物線の下に道路を通す立体交差(アンダーパス)ができ、スムーズに自動車の通行ができるようになりました。

▲昭和38年の南千住大踏切 ▲昭和57年の南千住大踏切

### 汐入東小学校4年生がリサイクル体験学習

10月28日、汐入東小学校4年生が明らか区リサイクルセンターを訪れ、施設見学や工房体験を行いました。びんや缶などの資源が分別・処理されているところを、ガラス越しに興味がこぼれ出た様子でのぞき込んでいました。また工房体験では、ガラスのカレットを使ってモザイクアート作りにも挑戦。カレットに油性ペンで好きな色を塗り、接着剤でコースターに貼り付けてオリジナルの模様を作成しました。

リサイクルのことを楽しく学んだ1日でした。

▼すばやく動く機械を見て、みんな大興奮

▲楽しく集中して体験しました

### 工房で廃材を使ったものづくりを体験!

リサイクルセンターでは、牛乳パックやびんなどを使った工房や教室を開いています。ジュニア記者もものづくりに挑戦しました。

「好きな絵柄をびんに描こう」

「使用済みのびんがおしゃれに変身!」

「紙すき 資源でハガキ作り!」

「イメージ通りのハガキができました!」

▲リサイクルセンターの本木豊光さんに型紙の切り抜き方を教わります。作りたい絵柄の型紙を貼り付け、切り抜きます。「むずかしそう」

▲型紙の上から細かい砂を吹き付けると、ガラスの表面が削られて模様は浮かび上がります。待っている間も、どんな作業かなどドキドキワクワクの様子

▲牛乳パックからできるパルプを、のりと水の入ったペットボトルに入れて振って混ぜ合わせます。「これくらいで混ぜたかなあ」

▲混ぜ合わせたパルプを型紙に流し込み、上から好きな色の折り紙を切って散らして模様を作ります。乾燥させれば綺麗なハガキの完成!



# 学校訪問

部活動

学校自慢



荒川リバーサイドマラソン

## 第七中学校

西尾久4-30-28

生徒が部活動を紹介し  
ボランティア部

校外での活動は、主に地域の行事が行われる週末や祝日です。春に行われる川の手まつりや秋の尾久つ子ワクワクまつり、尾久つ子ランキング、荒川リバーサイドマラソンのお手伝いにも、毎年参加しています。

今年度は、荒川区社会福祉協議会から声をかけていただき、荒川遊園地で熊本地震支援活動を行いました。ボランティアとは、人々の思いやりや支え合う心に触れることで自分たちが成長できる場だと考えています。

執筆 2年 部長 秋山桃葉

## 第四峡田小学校

町屋2-11-6

学校の自慢を児童が  
紹介します



量がかおるブックホール ▲芝生で踊る四峡ソーラン

私たちが四峡小に6年間いる中で自慢できると思うことを3つ紹介します。1つ目は、行事がたくさんあり楽しいことです。私たちが、その中でも好きなのは、運動会や、展覧会などの行事とキッズパラダイスです。行事ではどの学年も、協力してがんばっています。自分たちでよりよいものにしようと思えば、作ってあげていくのが好きです。キッズパラダイスは、各クラスで工夫してお店を開く行事です。「お化け屋敷」や「ボーリング」など、どれも工夫があつて楽しいです。

2つ目は、環境のよさです。校庭が全面芝生で、転んでも大きなけがにはなりません。運動会でソーラン節を踊るときにはだしになっても気持ちがいいです。本がたくさんある環境も自慢です。ブックホールというスペースに絵本もたくさんあります。量がかおられていて、先日張り替えたときはとてもよい香りでした。3つ目は、給食がおいしいところです。四峡小の給食はレパートリーがたくさんあり、どれもおいしいです。私たちがあと少しで卒業します。四峡小出身だと胸を張って言えるよう、これからも全力で何事にも取り組み日々生活していきます。

執筆 6年 小山遥輝 金本紗来 越戸芳美 田中ひかる



熊本地震支援募金活動

避難所で暮らす方への応援

## マレーシア・ペナンから小学生が荒川区にやってきた!

11月25日~27日、マレーシア国立小学校の児童17人が訪日。原中学校と尾久西小学校の生徒・児童と交流を行いました。原中では、タブレットを活用した英語の授業や、給食を食べながら話をしたりと、みんな積極的に交流を楽しみました。

滞在期間中の宿泊は、原中生徒の自宅にホームステイ。マレーシアの子どもたちは日本の文化にとまどいながらも、各家庭の温かい「おもてなし」の心を感じてくれた様子でした。



授業ではグループに分かれて英語でディスカッション ▲給食を食べながら英語で交流 ▲尾久西小でのセレモニー

## 中学生俳句の発表会が行われました

12月10日の「あらかわ句会」で、中学生対象の俳句イベント(俳句ハイク・英語俳句教室)で詠まれた作品を対象に、優秀作品の発表会が行われました。

全116句中、7句が特選、16句が入選。選者の現代俳句協会・対馬康子先生、田中亜美先生から俳句を詠んだ中学生へ賞品が授与されました。特選・入選作品は荒川区ホームページに掲載しています。



英語俳句教室の様子 ▲発表会の様子

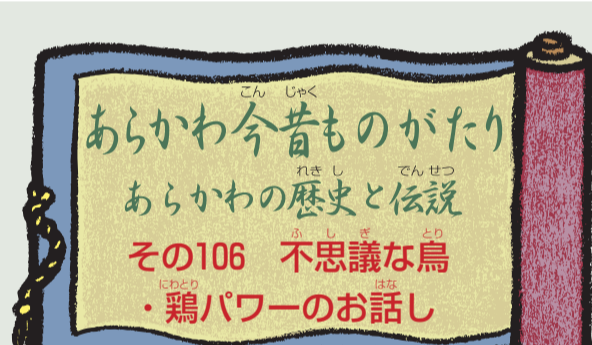
庭には二羽鶏がいて 昔は、あらかわにも鶏を飼っていた家がたくさんあつた。今年にはトリ年。年賀状のデザインには色々な種類の鳥が登場するよね。何と言っても多いのは鶏だろう。何々、鶏と聞くとお弁当のおかずの卵焼きやから揚げを思い出す。そうだね、鶏って料理の材料というイメージが強いよね。

「鶏パワー①朝を招く」 昔の人は、鶏を神聖な動物としてお祀りすることがあった。街角や社寺の境内に置かれていた庚申塔には怖い顔をしたご本尊の青面金剛の他に、「見ざる・言わざる・聞かざる」の3匹の猿、雄鶏と雌鶏なんかが刻まれている。猿は「不幸が去る、困難が去る、病が去る、災いが去る」等の「去る」という言葉に掛けて、厄除けに御利益があるとも言われている。一方、鶏には夜の闇を払う不思議な力があり、夜明けをもたらす鳥だと信じられてきたんだって。

確かに、太陽が昇る頃「コケッコ」って元気な声で鳴いて朝を告げるよね。これに、江戸時代のガイドブック「江戸名所図会」にも描かれているんだ。壇ノ浦の戦で亡くなった平知盛(清盛の四男)の化身とか、長者が金の鶏を埋めた神聖な場所だとか言われている。金鶏にまつわる伝説は全国各地にあり、埋められた金の鶏が鳴くなどの言い伝えが各地に残っているよ。今度、区内を巡って鶏パワーを調べてみてね。

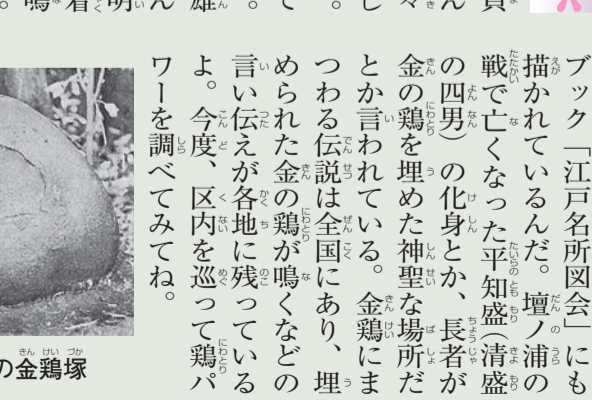
【訂正】12月号の「あらかわ今昔ものがたり」の2段目、「1里10丁(約13km)」は「(約5km)」、「1里半(約18km)」は「(約6km)」に訂正します。

問合せ 荒川ふるさと文化館 (3807)9234



「鶏パワー②行方不明捜査」 それに鶏には、警察犬顔負けのすごい能力があるんだ。テレビのニュースで時々警察官が行方不明者を捜索している様子を放映している。ゴムボートに乗り、長い竿で水中を懸命に探っているね。そういう時、昔の人は板に雄鶏を乗せて川に浮かべたんだって。板はやがて身元不明者が沈んでいる所の上に着し必ず「コケッコ」と鳴いたそうだよ。不思議だね。鶏には、神聖な天界と交信できる力があるから可能なんだと信じられていたんだよ。

「鶏パワー③金の鶏」 南千住三丁目の石浜神社境内には、いろんな石造物がある。その中の一つに「金鶏塚」というコロんとしたお握り形の石がある。表面の一部が剥がれているけれど、どうやら鳥の姿が刻まれている。この石は、江戸時代のガイド



▲石浜神社の金鶏塚